

| | | | | | | |
|---------------|--|--|-----------------|----------|-----------|--|
| ★学校教育目標 | | ○学び考えを深める子 | ◎思いやりの心もち行動できる子 | ○がんばりぬく子 | ○身体をきたえる子 | ★重点計画の概要 |
| ★目指す学校像（ビジョン） | | | | | | 「教育のまち日野」の基本構想を受け、「生きる力」「特色ある学校」「時代とともに歩む学校」を目指し、全教職員の力を結集させ危機意識を高め教育活動を進めていく。特に今年度、人権尊重教育の充実に向け、校内研究を中心とし、全教育活動において、その精神を追究し、全校児童の豊かな成長を図る。 |
| 【めざす児童・生徒像】 | | ○学び考えを深める子 | ◎思いやりの心もち行動できる子 | ○がんばりぬく子 | ○身体をきたえる子 | |
| 【めざす学校像】 | | ○躍動感あふれる学校 | ○美しい学校 | ○響き合う学校 | | |
| 【めざす教師像】 | | ○児童の活力を引き出す教師 ○授業力を高める教師 ○教育公務員としての高き誇りと強き使命感をもつ教師 ○保護者・地域住民の願いを受け止め、期待に添う謙虚な姿勢の教職員 ○全体の奉仕者として職務に専念する教職員 | | | | |

| 領域 | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 具体的方策 | 評価指標・評価基準 | | | | 学校評議員・学校運営協議会の意見 | 結果の分析と改善策 | | |
|-------------|----------------------------------|---|--|-----------|------|---|-----|------------------|--|--|--|
| | | | | 評価点 | 取組指標 | | 評価点 | | | 成果指標 | |
| 子供 | 確かな学力の育成 | 基礎力となる知識・技能の確実な習得及び思考力育成、それらを活用・発展させる実践力を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆「比較」「選択」「類推」「関係づけ」の四つの思考の型を活用し、思考力・表現力を高め、確かな学びに結び付ける。 ◆ペーシックタイムにおいて、学習の基礎・基本の定着を図るとともに、学び残しゼロに向けた金曜道場を実施する。 ◆2年生以上算数における少人数を生かした習熟度学習を定着させる。 ◆六小学びのスタイルを基本とし、学習の構造化を図る。 ◆日本の伝統文化を学び合う体験活動を充実させる。 | 4 | 4 | 90%以上の教員が計画通り実施 | 4 | 4 | 児童のアンケートで90%以上の子どもが「勉強を理解している」と答える | <ul style="list-style-type: none"> ・板書も丁寧で学年に合った分かりやすい授業をしている。 ・子供たちが積極的に授業に参加している様子がうかがえた。 ・それぞれの意見を尊重しながらグループワークを進めている。 ・全体的に落ち着きをもって授業に取り組んでいる。姿勢の悪さ、鉛筆の持ち方が気になる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「勉強を理解している」のプラス評価は94.5%であり、高い水準である。 ・四つの思考の型の活用や六小学びのスタイルによる授業の構造化については、毎年教員が変わっても継続して実践する。 ・姿勢の悪さ、鉛筆の持ち方については、課題として改善に取り組む。 |
| | | | | | 3 | 80%以上の教員が計画通り実施 | | 3 | 児童のアンケートで80%以上の子どもが「勉強を理解している」と答える | | |
| | | | | | 2 | 70%以上の教員が計画通り実施 | | 2 | 児童のアンケートで70%以上の子どもが「勉強を理解している」と答える | | |
| | | | | | 1 | 計画通り実施した教員が70%未満 | | 1 | 児童のアンケートで「勉強を理解している」と答える児童が70%未満だった | | |
| 子供 | 豊かな人間性の育成 | 互いを認め合い、他者を思いやる心情を育てるとともに、それらを実践する力を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆東京都人権尊重教育推進校として、校内研究と連携し、教育活動全体を通して、自他の生命を尊重する教育やいじめ防止の取組を推進する。 ◆「特別の教科道徳」を先行実施し、「考え、議論する道徳」の実践研究を通してねらいとする価値に迫る。 ◆学校行事・委員会・係活動・たてわり班活動などを通して、集団への帰属感や連帯感を深め、協力してよりよい学校生活を築こうとする態度を育成する。 | 4 | 4 | 90%以上の教員が計画通り実施 | 4 | 4 | 児童のアンケートで90%以上の子どもが「学校は楽しく友達と仲よくすることができる」と答える | <ul style="list-style-type: none"> ・人権の研究発表会では、六小の真摯な姿が現れていた。教職員一体となってとても感激した。 ・職員室前の「やさしい言葉のおくりもの」では、異学年にもメッセージを送っていて、相互の思いやりを育てている。 ・命を考える朗読会・ワークショップが、とても素晴らしかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「学校は楽しい」「友達と仲よく遊ぶ」のプラス評価は、それぞれ93.7%と95.4%であり、高い水準である。 ・人権教育の視点を取り入れた授業を各教科・領域で実践し、先進的な研究を行った。いのちを大切に取る取組や思いやりの心を育てる取組などの成果を、次年度以降にも活用する。 |
| | | | | | 3 | 80%以上の教員が計画通り実施 | | 3 | 児童のアンケートで80%以上の子どもが「学校は楽しく友達と仲よくすることができる」と答える | | |
| | | | | | 2 | 70%以上の教員が計画通り実施 | | 2 | 児童のアンケートで70%以上の子どもが「学校は楽しく友達と仲よくすることができる」と答える | | |
| | | | | | 1 | 計画通り実施した教員が70%未満 | | 1 | 児童のアンケートで「学校は楽しく友達と仲よくすることができる」と答える児童が70%未満だった | | |
| 子供 | 体力向上および食育の推進 | 体力向上および食育推進の取組を通して、児童がたくましく生きるための知恵や体力を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆体育講師による全学年・全学級のチームティーチングの実施、体力テスト、体力向上ハンドブック、ソイコ等への取組を通して、基礎体力の向上を図る。 ◆オリンピック・パラリンピック教育を通して、本物のアスリートと触れ合う体験等により、スポーツ志向を高める。 ◆栄養士と連携した食育を推進し、心身の調和のとれた発達を促す体づくりを推進する。 | 4 | 4 | 90%以上の教員が計画通り実施 | 4 | 4 | 体力テストの結果で、90%以上の子どもが昨年の総合評価を上回る | <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果も良く、授業では、体育が苦手と思われる子供も、前向きに頑張っていた。 ・六小はパラリンピック選手など、著名な人を呼んで授業をしていて、素晴らしい体験ができています。 ・食に対するこだわりも素晴らしく、素材を生かした調和のとれた献立で、どれも美味しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果において、昨年の総合評価を上回った児童は94%であり、高い水準である。 ・パラリンピック教育に重点を置き、アスリートによる講演や体験授業、バラ種目の体験などを計画・実施した。今後も豊かな体験活動を企画する。 ・ひのっ子シェフコンテストに参加したり、メニューを給食で実現した。 |
| | | | | | 3 | 80%以上の教員が計画通り実施 | | 3 | 体力テストの結果で、80%以上の子どもが昨年の総合評価を上回る | | |
| | | | | | 2 | 70%以上の教員が計画通り実施 | | 2 | 体力テストの結果で、70%以上の子どもが昨年の総合評価を上回る | | |
| | | | | | 1 | 計画通り実施した教員が70%未満 | | 1 | 体力テストの結果で、昨年の総合評価を上回った児童が70%未満だった | | |
| 教職員・学校 | 生活指導および防災安全教育の充実 | 基本的な生活習慣の徹底と児童一人一人の防災意識を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆「のびゆく六小 学びの礎」「六小学習ルール」を活用し、「挨拶の励行」「きまりの遵守」の指導を徹底する。 ◆「命のノート」を活用し、生命の大切さを自己評価する機会を設定するとともに、防災安全教育を通して「自分の命は自分で守る」意識を高める。 | 4 | 4 | 90%以上の学級が計画通り実施 | 3 | 4 | 児童のアンケートで90%以上の子どもが「ルールを守る」「そろえる」「自分の命は自分で守る」意識の高まりを得る | <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶がすっかりでき、下駄箱もロッカーもきれいに整頓されている。清掃指導が行き届いていて、とてもきれいな学校である。 ・全体的に落ち着いていて、きまりを守り生活できている。 ・地域では、こみを置いて行ってしまったりすることもあり、多くの目で見守っていければと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「ルールを守る」「整理整頓」「自分の命は自分で守る」のプラス評価は、92.8%・88.4%・98.0%であり、「整理整頓」が目標準に達しなかった。生活指導部を中心に改善に取り組む。 ・挨拶や遊び方など、学校での生活に比べて学校外での生活に課題が見られるため、実態を把握し指導を重ねる。 |
| | | | | | 3 | 80%以上の学級が計画通り実施 | | 3 | 児童のアンケートで80%以上の子どもが「ルールを守る」「そろえる」「自分の命は自分で守る」意識の高まりを得る | | |
| | | | | | 2 | 70%以上の学級が計画通り実施 | | 2 | 児童のアンケートで70%以上の子どもが「ルールを守る」「そろえる」「自分の命は自分で守る」意識の高まりを得る | | |
| | | | | | 1 | 計画通り実施した学級が70%未満 | | 1 | 児童のアンケートで「ルールを守る」「そろえる」「自分の命は自分で守る」意識の高まりを得たのは70%未満だった | | |
| 教職員・学校 | 特別支援教育の充実 | 校内委員会を活用し、ひのスタンダードの具現化を図るとともに授業のUD化を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆サポートプランを活用して児童個別の課題を把握し、校内委員会・特別支援コーディネーター・スクールカウンセラー等と連携して組織的に対応する。 ◆ひのスタンダードを基に環境および授業を月一回は見直し、環境整備を行うとともに、授業のユニバーサルデザイン化を進める。 ◆スクールカウンセラーと連携したSSTの授業を取り入れ、個別課題の改善に生かす。 | 3 | 4 | チェックリスト評価4が90%以上 | 3 | 4 | チェックリスト評価4が90%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・教室環境は、子供たちが学びやすいようよく配慮されていると感じる。掲示物も整っており、暖かい内容である。 ・サポートされる方もおり、個別対応されている様子がうかがえる。 ・スクールカウンセラーとの連携授業が行われている学校は少ないと聞いた。今後も充実させてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会は組織的に機能しており、今後も継続する。 ・ひのスタンダードを基準とした教室環境の整備は概ね実現できている。今後、授業のユニバーサルデザイン化についての取組をさらに進化させる。 ・スクールカウンセラーとの連携授業を臨機応変に実施した。今後も実態に合わせた改善を重ねる。 |
| | | | | | 3 | チェックリスト評価3が80%以上 | | 3 | チェックリスト評価3が80%以上 | | |
| | | | | | 2 | チェックリスト評価2が80%以上 | | 2 | チェックリスト評価2が80%以上 | | |
| | | | | | 1 | チェックリスト評価2が80%未満 | | 1 | チェックリスト評価2が80%未満 | | |
| 教職員・学校 | ICT活用教育の充実 | 教員のICT活用指導力の向上と児童のICT活用技術の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆教員がICTを効果的に活用した授業、児童がICTを効果的に活用する授業の両方をそれぞれの学級で週に1回以上行う。 ◆タブレットパソコンの導入にあたり、講師を招いてICT研修を実施して活用方法を習得し、授業での効果的な活用を図る。 | 3 | 4 | 100%の教員が計画通り実施 | 4 | 4 | 児童のアンケートで、90%以上の子どもがICTを活用した授業が分かりやすいと答える | <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの導入は必修となり、それに伴い、機器のメンテナンスや情報モラルなどにも注意が必要と思われる。 ・SNSに関する教育はできるだけ早い時期に行ってほしい。画像の扱いで大変なトラブルになってしまうこともあり、ライン等の対応が原因で険悪になることもよくある。リスクを教えないかなければならぬと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「ICTを使った勉強は分かりやすい」のプラス評価は94.4%であり、高い水準である。 ・タブレットPCが導入されたが、パソコン室から持ち出している実践は少ないため、実践を増やし、活用する。 ・SNSに関する情報モラルの教育は、セーフティ教室での授業を含め、今後も内容を深め、強化する。 |
| | | | | | 3 | 90%以上の教員が計画通り実施 | | 3 | 児童のアンケートで、80%以上の子どもがICTを活用した授業が分かりやすいと答える | | |
| | | | | | 2 | 80%以上の教員が計画通り実施 | | 2 | 児童のアンケートで、70%以上の子どもがICTを活用した授業が分かりやすいと答える | | |
| | | | | | 1 | 計画通り実施した教員が80%未満 | | 1 | 児童のアンケートで、ICTを活用した授業がわかりやすいと答えた子どもは70%未満だった | | |
| 教職員・学校 | 幼・小・中連携教育の充実 | 幼（保）・小・中連携の取組を深め、異校種間の接続をスムーズにするための指導改善に役立てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆園児と児童との交流を行い、小学校入門期における学校生活を円滑に適應できるようにする。 ◆小・中教員による合同授業参観・授業参加（T Yや出前授業）・協議会等の計画を立て、教員相互が学び合う。連携に関する計画を全員ステップ4を目標にする。 | 3 | 4 | 90%以上の教員が連携をはかり、指導内容の連続性・系統性を理解し指導に役立てることができた | 3 | 4 | 連携に関する計画のステップ4まで実践した教員が80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・交流会等も設けてあり、異校種間での接続は大切と思われる。継続できるとよい。 ・幼稚園や保育園から小学校にスムーズにつなげられるよう情報交換をしっかり行えることと良い。 ・一人一人の学習状況を確認した方がよい。分かっていないところを把握して、中学へ接続していただきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園との交流について、入学に向けてのスムーズな接続を意識した内容を考え実施した。今後、対象とする園を増やし、交流を広げる。 ・四中との交流については、毎年小中交流会において、授業を参観した上で、学習・生活についてより良い接続を図っている。学習面での接続について、連携を深める。 |
| | | | | | 3 | 80%以上の教員が連携をはかり、指導内容の連続性・系統性を理解し指導に役立てることができた | | 3 | 連携に関する計画のステップ3まで実践した教員が80%以上 | | |
| | | | | | 2 | 70%以上の教員が連携をはかり、指導内容の連続性・系統性を理解し指導に役立てることができた | | 2 | 連携に関する計画のステップ2まで実践した教員が80%以上 | | |
| | | | | | 1 | 連携をはかり、指導内容の連続性・系統性を理解し指導に役立てることができた教員は70%未満だった | | 1 | 連携に関する計画のステップ2まで実践した教員が80%未満 | | |
| 学校、家庭、地域・社会 | 学校、家庭、地域・社会が一体となった「つながりによる教育」の推進 | PTA・地域支援本部・自治会・地域人材などを活用し豊かな体験活動や学校環境整備を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆家庭学習のススメの啓発を行う。 ◆教職員がPTA活動や地域行事、育成会等に積極的に参加する。 ◆学校支援ボランティア等を活用し、豊かな体験活動や学校環境整備を行う。 ◆学校HPを毎日更新するとともに、学年学級便りや学年単位のTV画像配信等、積極的な情報公開・広報を継続する。 | 3 | 4 | 90%以上の教員が計画通り実施 | 4 | 4 | 児童のアンケートで90%以上の子どもが「体験活動や講師を招聘した授業は楽しい」と答えている | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事や活動に先生方が協力するためには、勤務の問題があり、土日に先生が出てきにくい状況がある。 ・花壇などもよく手入れがされており、学校支援ボランティアの方々と協力体制ができている。 ・学校HPの更新、学校公開が頻繁に行われているなど、積極的な情報公開を行っていると感じる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「体験活動や講師を招聘した授業は楽しい」のプラス評価は98.7%であり、感想からも多くを学んでいることが確認できた。 ・PTAや育成会のイベントには多くの教員が参加したが、参加の少なかった教員もいたので、意識を高める。 ・今後も積極的な情報公開・情報発信を継続する。 |
| | | | | | 3 | 80%以上の教員が計画通り実施 | | 3 | 児童のアンケートで80%以上の子どもが「体験活動や講師を招聘した授業は楽しい」と答えている | | |
| | | | | | 2 | 70%以上の教員が計画通り実施 | | 2 | 児童のアンケートで70%以上の子どもが「体験活動や講師を招聘した授業は楽しい」と答えている | | |
| | | | | | 1 | 計画通り実施した教員が70%未満 | | 1 | 児童のアンケートで「体験活動や講師を招聘した授業は楽しい」と答えている児童が70%未満だった | | |

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。